

【様式1】

市議会における政策提案とその対策等					
〔一般質問〕					
担当課	上下水道部管理課	議員名	梶山 太 議員	提案月	令和3年6月
<p>〔提案事項〕</p> <p>健康で快適な生活環境の確保のために、本市における合併処理浄化槽について、市が主体となって設置し維持管理する「市町村設置型」とし、整備手法については、コスト縮減の観点から直営ではなくPFI方式で取り組んではどうか。</p>					
<p>〔現況等〕</p> <p>合併処理浄化槽については、国の補助制度を活用し、設置費用に補助金を支出している。</p> <p>※補助額は、5人槽、7人槽、10人槽それぞれに上限額が定められており、補助割合は、国、県、市各々1/3 としている。</p>					
<p>〔政策提案を受けての対策〕</p> <p>「市町村設置型」を導入している自治体の取り組み状況について、調査研究を行った。</p>					
<p>〔対応状況・令和4年3月31日現在 完了〕</p> <p>市町村設置型に取り組んでいる県内9市町に導入の経緯や運用方法について調査研究を行った。</p> <p>調査研究の結果、市町村設置型の浄化槽整備事業(PFI方式含む)に取り組むためには、多額の費用がかかり、今後の下水道事業の計画見直しを検討する際の整備手法の一つではあるが、当事業に取り組むための財源の確保が難しいとの判断に至った。</p> <p>梶山議員には、今回の調査結果の内容と部の考えについて説明を行い了承された。</p>					